



第65回宿南地区文化祭 開催

11月17日(日)午前は宿南小学校学習発表会、午後は宿南地区文化祭が開催されました。農林物産展、手芸・編み物・絵手紙・色鉛筆画・中学生作品の展示。ひまわりカフェの開店があり、コロナ禍以前の内容で開催することができました。

農林物産展は猛暑・高温の影響で出品数は例年に比べると少なく、出品数45点でした。JAたじま様に、金賞2点銀賞5点銅賞8点を選んでいただき、翌日の芸能発表会の第1部で受賞者の発表と金賞受賞の2人に賞状が自治協議会会長から渡されました。(池田立身さん ネギ 池田頼之さん 大根)

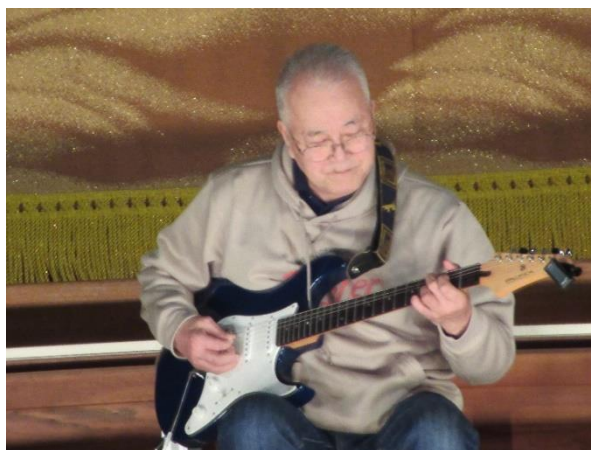
作品展示は校舎2階のワークスペースで行いました。

出品者は個人・団体・サークル活動などいろいろ。池田草庵展も開催され普段あまり目にすることがない草庵先生直筆の掛け軸の展示もありました。

芸能発表会では10組に出演いただき、踊り・カラオケ ギター演奏 ダンス・ピアノ演奏・歌・などが会場いっぱいになり広がりました

今年度は福引きも復活され12時30分～13時まで体育館入口で福引券が渡されました。発券枚数は158枚でした。1等1本 2等3本 3等5本 4等10本 5等15本の当選者が在りました。

体育部文化部員の皆様には大変お世話になりました。スタッフ、出演者の皆さまの協力で予定時間に終了することができました。有難うございました。







地元八鹿青溪中学生作品展



池田草庵展



編み物教室



絵手紙教室



ふれあいの日

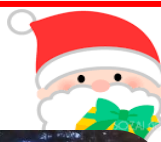
クリスマスツリー登場

11月30日からふれあい倶楽部前にクリスマスツリーが点灯しました。

ふれあい隊の皆さんの協力により今年初めての試みです。

12月24日迄、点灯して

ます。是非一度見に来て下さい。



喫茶 ひまわりより



1年間のご愛顧誠にありがとうございました。
年明けは1月9日(木)から営業します。
楽しい企画を用意していますので、是非ご来店下さい。

尚、12月16日(月)19日(木)は特別メニューです。お越し下さい。お待ちしております。



身近で見られる植物 ④③

ヒラタケ（平茸）〈ヒラタケ科〉

今回は、植物ではなく、今の時期見られる菌類のキノコを紹介します。キノコと見れば、誰もが「食べられる？」と聞かれます。天然で、身近に発生している食べられるキノコの一つ。ヒラタケです。人工栽培されるキノコで、以前は、「シメジ」として売られていましたが、今は「ヒラタケ」と表示されています。天然では、「ツキヨタケ」という毒キノコと形が似ているので要注意です。



年末大掃除実施しました

11月24日（日）ふれあい隊・花水木の会の皆さんで宿南ふれあい倶楽部の大掃除をしていただきました。当日は悪天候の中、窓ガラス拭き、側溝の清掃 植木の剪定、花壇の花の植え替え、照明器具の清掃など、日常できないところの掃除をしていただき、気分も一新し、新しい年を迎える事ができます。有難うございました。



お知らせ

12月22日（日）クリスマス会

12月26日（木）喫茶ひまわり 年内営業最終日 1月9日（木）新年営業開始

12月28日（土）～1月5日（日）宿南地区自治協議会年末年始休館日



草庵先生紹介

日記 70



冬の青谿書院

濱篤さん作

黒船が来航した嘉永6（1853）年の翌年3月には、鎖国していた日本は下田、函館の港を開くことになった。池田草庵は、今まで世の中の動きに対して提言や批判をするようなことはほとんどなかった。しかし、激しく移り変わる時勢の中で、草庵も自分の意見を述べた。それを「時務六策」という題名でまとめ、その最後に次のように書いた。

「このごろアメリカの黒船を初めとしていろいろの国から外国船が来港し、そのため世間は大騒ぎをし混乱している。その上伝わってくることはまちまちである。私は山陰の田舎でその事件をうわさなどで聞いている。幕府はこれに対して成算ある対応をするであろうが、今のところまちまちである。（中略）ただこんな大事件に対して、私はそ知らぬふりをしているわけにもいかずひどく憂慮するものである。これは在野にいる者のやむを得ない苦心の結果なのである」（疋田啓佑著「池田草庵」から）

草庵は、この文章を嘉永7年3月から5月にかけてまとめていった様子を日記に書いている。「3月22日。文献など参考に文章を書く」「3月23日。前日と同じく」「3月24日。今日は『時務五策』のおよそが仕上がる」「4月10日。清書をする」「4月11日。清書仕上げる」「4月14日。書き写す」「4月15日。書き写しが終わり、『時務五策』完成する」最初は「時務五策」だったが、さらに「5月6日。この日、策1編を付け加える」。これで「時務六策」として完成したのだ。草庵の六策を簡単にまとめると次のようなことになる。

①定志 幕府が国を守るという決心をする。②謝交 鎖国をしていることを守る。③儲糧 国内に食糧を貯える。④講技 軍備の充実を図る。⑤崇文 読書や学問を尊ぶ。⑥固本 国民の生活を安定させる。これらの策は黒船がやって来て、急いでまとめたもの。今からみると的外れと指摘されるところもあるだろう。しかし、情報も知識も乏しい中で、草庵は読書や見聞から国のあり方を精いっぱい考えて発表したのだ。

池田草庵先生に学ぶ会